

9月2日の竜巻による被害状況等に係る調査結果

1. 現地調査箇所

(1) 越谷市

①大杉地区、下間久里地区

- ・ 最も被害が大きく、住家被害の他、電柱の倒壊も多
- ・ 小学校校舎は、多くの窓ガラスが割れているが、授業は短縮して実施

②北陽中学校、給食センター

- ・ 給食センター、体育館で被害大。屋根が飛び、窓ガラスが飛散している状況
- ・ 周辺住家も被害大、電柱も一部倒壊

(2) 野田市

①谷津地区

- ・ 旧式住宅が全壊。新興住宅地にも屋根等に被害あり。

②岩名地区

- ・ 川沿いの地域を中心に住宅被害あり。共助により瓦礫の撤去等を対応済。

2. 地元自治体等からの主な要望事項

- ・ 被災者再建支援法の適用について
- ・ 小学校の耐震補強工事の足場の損壊に対する支援（野田市）
- ・ このほか、がれき処分を円滑にしてほしい、越谷市給食センターの早期復旧、等について住民要望あり。

3. 要検討課題

- 被災者生活再建支援法・これに準ずる地方単独制度の適用のあり方について
- 野田市の小学校の耐震補強工事の契約変更に係る補助金及び起債措置又は負担割合の変更
- 越谷市の給食センター（市域の7000食/日）の早期復旧
- 避難所に避難している間の夜間の防犯について
- がれき処理の円滑化（収集箇所の周知、収集の支援）

9月2日の竜巻被害について

越谷市下間久里



小学校の被害の様子

松伏町大川戸



住宅街の被害の様子

松伏町魚沼・築比地
倒木等

野田市岩名



住宅被害及び撤去した瓦礫の様子

野田市谷津



住宅被害の様子

松伏町大川戸
水田に瓦礫散乱

松伏町金杉
トラック横転等

〇 現地調査及び自治体からの聞き取りにより被害が認められる箇所

越谷市大杉・大松

越谷市大杉



住宅街の被害の様子
(被害大)



給食センターの被害の様子



給食センターの被害の様子

(被害大)

越谷市袋山



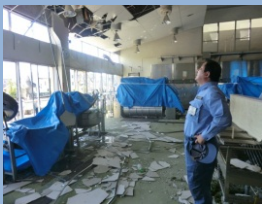
住宅街の被害の様子
(被害大)

人的・物的被害の状況(消防庁調べ:9月4日15:00現在)

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計	公共建物	その他
			重傷	軽傷								
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
埼玉県			7	56	13	※989				1002	1	調査中
千葉県				1	8	4	141			153		調査中
合計	0	0	7	57	21	1,134		0	0	1155	1	調査中

政府調査団現地調査場所

③9月3日調査
越谷市大杉・大松



給食センターの
被害の様子



中学校体育館の
被害の様子

①9月3日調査
越谷市下間久里



小学校の被害の様子



住宅街の被害の様子

②9月3日調査
越谷市大杉



住宅街の被害の様子



住宅街の被害の様子

④9月3日意見交換会
越谷市役所

①9月4日調査
野田市谷津



住宅被害の様子



住宅被害の様子

②9月4日調査
野田市岩名



住宅被害及び撤去した
瓦礫の様子



被害を受けた建物
(青色ビニルシート覆)
の様子

③9月4日意見交換会
野田市役所

埼玉県 ←

⇒ 千葉県



平成25年9月4日
内閣府（防災担当）

9月2日の竜巻による被害に係る政府調査団（埼玉県）報告

1 概要

9月2日に発生した竜巻による災害に伴い、被害状況及び現地の対応状況等を把握するため、政府は亀岡内閣府大臣政務官を団長とする政府調査団を埼玉県に派遣し、被災自治体の首長等と意見交換を行うとともに、被災現場の調査を実施しました。

2 調査日

平成25年9月3日（火）

3 調査先（※別紙1参照）

埼玉県

4 編成（※別紙2参照）

亀岡内閣府大臣政務官以下7名

5 調査の概要（※別紙3参照）

- (1) 越谷市の被災現場に入り、桜井南小学校、大杉地区の住家街、第二給食センター及び北陽中学校の被災状況を調査しました。
- (2) その後、越谷市役所において、岩崎埼玉県副知事、高橋越谷市長等から被災状況等の説明を受け、意見交換を行いました。

9月2日の竜巻による被害に係る政府調査団(埼玉県)行程

【9月3日(火)】

時 間		現 地 調 査 行 程
13:50	14:40	越谷市被災現場調査 ・ 越谷市立桜井南小学校 ・ 大杉地区 ・ 第二学校給食センター ・ 越谷市立北陽中学校
15:10	15:40	越谷市役所 ・ 被災状況等聴取 ・ 意見交換(埼玉県副知事、越谷市長等) ・ ぶら下がり取材

○政府調査団（埼玉県）派遣者名簿

	省庁名	官 職	氏 名
1	内閣府	大臣政務官【団長】	亀岡 偉民
2	内閣府	大臣政務官秘書官	北川 公也
3	内閣府	政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）	藤山 秀章
4	内閣府	政策統括官（防災担当）付企画調整官	藤條 聡
5	内閣府	政策統括官（防災担当）付参事官補佐	中澤 篤志
6	内閣府	政策統括官（防災担当）付主査	桑嶋 祐太
7	内閣府	政策統括官（防災担当）付	千野 勇生

9月2日の竜巻による被害に係る 政府調査団の現地調査概要



小学校校舎の被害の様子
【埼玉県越谷市下間久里地区】



住宅街の被害の様子①
【埼玉県越谷市下間久里地区】



住宅街の被害状況②
【埼玉県越谷市大杉地区】



住宅街の被害状況を調査する亀岡
政務官【埼玉県越谷市大杉地区】



住宅街の被害の様子③
【埼玉県越谷市大袋地区】



給食センターの被害状況を調査する
亀岡政務官【埼玉県越谷市大杉地区】



中学校体育館の被害の様子
【埼玉県越谷市大松地区】



中学校体育館の被害状況を調査する
亀岡政務官【埼玉県越谷市大松地区】



住宅街の被害の様子④
まつぶしまちおおかわど
【埼玉県松伏町大川戸地区】



住宅街の被害の様子⑤
まつぶしまちおおかわど
【埼玉県松伏町大川戸地区】



埼玉県副知事、越谷市長等と意見交換をする亀岡政務官【埼玉県越谷市役所】



(注) 一部、情報先遣チームによる写真を含む。



平成25年9月4日
内閣府（防災担当）

9月2日の竜巻による被害に係る政府調査団（千葉県）報告

1 概要

9月2日に発生した竜巻による災害に伴い、被害状況及び現地の対応状況等を把握するため、政府は亀岡内閣府大臣政務官を団長とする政府調査団を千葉県に派遣し、被災自治体の首長等と意見交換を行うとともに、被災現場の調査を実施しました。

2 調査日

平成25年9月4日（水）

3 調査先（※別紙1参照）

千葉県

4 編成（※別紙2参照）

亀岡内閣府大臣政務官以下15名

5 調査の概要（※別紙3参照）

- (1) 詳細な被害状況や応急対応の活動状況等を把握するため、野田市^{やっ}谷津地区及び^{いわな}岩名地区において被災現場の調査を実施しました。
- (2) その後、野田市役所において、森田千葉県知事、根本野田市長等から被災状況等の説明を受け、意見交換を行いました。

9月2日の竜巻による被害に係る政府調査団(千葉県)行程

【9月4日(水)】

時 間		現 地 調 査 行 程
10:40	11:10	野田市被災現場調査 ・ 谷津地区
11:15	11:40	野田市被災現場調査 ・ 岩名地区
12:00	12:25	野田市役所 ・ 被害状況等説明 ・ 意見交換(知事、市長等) ・ ぶら下がり取材

○政府調査団(千葉県)派遣者名簿

	省庁名	官 職	氏 名
2	内閣府	大臣政務官【団長】	亀岡 偉民
2	内閣府	大臣政務官秘書官	北川 公也
4	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官(防災計画担当)	笹川 敬
4	内閣府	政策統括官(防災担当)付企画官	中島 壮一
5	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官補佐	中澤 篤志
6	内閣府	政策統括官(防災担当)付参事官補佐	前田 治
7	内閣府	政策統括官(防災担当)付	村上 晋平
8	総務省	自治財政局財政課参事官	笠置 隆範
9	消防庁	国民保護・防災部応急対策室長	吉住 智文
10	厚生労働省	社会・援護局総務課災害救助・救援対策室長補佐	喜田川 典秀
11	農林水産省	経営局総務課災害総合対策室長	中東 一
12	国土交通省	水管理・国土保全局防災課長	塚原 浩一
13	国土交通省	住宅局建築指導課建築物防災対策室長	石崎 和志
14	気象庁	観測部計画課情報管理室長	須田 一人
15	環境省	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課	安部 佳宏

9月2日の竜巻による被害に係る 政府調査団（千葉県）の現地調査概要



被害状況を調査する亀岡政務官
【千葉県野田市谷津地区】



住宅被害の様子
【千葉県野田市谷津地区】



現地にて千葉県知事、野田市長より被害等の
説明受け【千葉県野田市岩名地区】



被害を受けた建物（青色ビニルシート覆）
の様子【千葉県野田市岩名地区】



住宅被害及び撤去した瓦礫の様子
【千葉県野田市岩名地区】



千葉県知事、野田市長等と意見交換をする
亀岡政務官【千葉県野田市役所】

9月2日及び4日の竜巻等による被害状況等について

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある
 ※ 下線部は、前回からの変更箇所

平成25年9月5日
 19時00分現在
 内閣府

1. 気象状況（気象庁情報：9月5日18:00現在）

（1）気象の概況と見通し

【9月2日の状況】

- ・ 関東地方には九州北部から伸びる前線が停滞しており、この前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んでいた。
 さらに、日中の地上気温の上昇が加わり、大気の状態が非常に不安定となっていた。
- ・ 14時頃、発達した積乱雲にともない、埼玉県さいたま市、越谷市、北葛飾郡松伏町、千葉県野田市、および茨城県坂東市にかけて、竜巻が発生した。
- ・ この竜巻は、風速は毎秒50～69メートルに達した（藤田スケールのF2）と推定された。

【9月4日の状況】

- ・ 台風第17号は、4日3時頃に鹿児島県指宿市付近に上陸した後、9時に足摺岬付近で温帯低気圧に変わり、その後北海道付近から西日本に前線がのびる前線上を北東に進んだ。
台風から変わった低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、西日本から東日本の広い範囲で雷を伴った非常に激しい雨が降った。
- ・ 4日6時30分頃、高知県宿毛市において、風速が毎秒17～32メートル（藤田スケールでF0）に達すると推定される竜巻が発生した。
- ・ 4日12時20分頃から13時頃にかけて、栃木県鹿沼市から宇都宮市において、及び、塩谷郡塩谷町から矢板市において、それぞれ、風速毎秒33～49メートル（藤田スケールでF1）に達すると推定される竜巻が発生した。
- ・ 4日14時20分頃、三重県伊勢市から小俣町において、風速毎秒17～32メートル（藤田スケールでF0）に達すると推定される竜巻が発生した。

【今後の見通し】

- ・ 北海道付近の低気圧や前線に向かって流れ込んでいる湿った空気は、次第に日本の東に移り、大雨の峠は越えたが、5日夜にかけて関東地方、東北地方では大気の状態が不安定となり、局地的に激しい雨が降る見込み。
- ・ 土砂災害に警戒。河川の増水、低い土地の浸水、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ・ 6日から12日頃までは、高気圧に覆われて晴れる所もあるが、気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすく、雨の降るところもある見込み。

2. 人的・物的被害の状況（消防庁調べ：9月5日16:00現在）

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計	公共建物	その他
			重傷	軽傷								
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
栃木県				3		4	72			76		9
埼玉県			7	56	13	※990				1,003	1	
千葉県				1	8	4	141			153		
三重県							29			29		
高知県							1			1		
合計	0	0	7	60	21	1,241	0	0		1,262	1	9

※埼玉県の住家被害の程度（半壊、一部破損）については、現在精査中

3. 避難状況等

- (1) 避難指示（消防庁調べ：9月5日16:00現在）
 - ・発令なし
- (2) 避難勧告（消防庁調べ：9月5日16:00現在）
 - ・発令なし
- (3) 避難の状況（内閣府調べ：9月5日16:00現在）
 - ・千葉県 なし
 - ・埼玉県 6名（越谷市）
- (4) 孤立の状況（内閣府調べ：9月5日16:00現在）
 - ・孤立情報なし

4. その他被害の状況

- (1) ライフライン
 - 電力（経済産業省調べ：9月5日13:00現在）
 - 【東京電力株】
 - ①停電戸数：約0戸
 - ②延べ停電戸数：約65,700戸
 - ③主な停電地域：
 - 埼玉県 越谷市、春日部市、北葛飾郡松伏町、宮代町
 - 千葉県 野田市
 - ④主な設備被害：多数の飛来物（トタン板等）が電線、鉄塔に付着している状況。突風による配電設備の損壊等。
 - ⑤復旧見込み：復旧済み
 - 都市ガス（経済産業省調べ：9月5日13:00現在）
 - ・東彩ガス（埼玉県越谷市外）
ガスメーターの固定バンド外れ（ガス漏れなし。復旧済み。）が1件。
引き続きパトロール継続中。
 - 水道（厚生労働省調べ：9月5日15:00現在）
 - ・被害情報なし

○通信関係の状況（総務省調べ：9月5日16:30現在）

	事業者	被害状況等
固定電話	NTT東日本	・埼玉県で約300回線が断
	NTTコミュニケーションズ	・被害なし
	KDDI	・被害なし
	ソフトバンクテレコム	・復旧済み
携帯電話等	NTTドコモ	・復旧済み
	KDDI (au)	・復旧済み
	ソフトバンクモバイル	・復旧済み
	イー・アクセス	・復旧済み
	ウィルコム	・被害なし
	UQコミュニケーションズ	・1局（埼玉県）が停波
	WCP	・復旧済み

○放送関係の状況（総務省調べ：9月5日16:30現在）

<地上波> 被害情報なし

(2) 道路（国土交通省調べ：9月5日15:00現在）

- ・高速道路の通行止め状況：現在、被災による通行止めなし
- ・直轄国道の通行止め状況：現在、被災による通行止めなし
- ・道府県管理国道の通行止め状況：現在、被災による通行止めなし
- ・都道府県道の通行止め状況：現在、被災による通行止めなし（延べ2区間で通行止め）

(3) 交通機関

○鉄道（国土交通省調べ：9月5日15:00現在）

- ・被害情報なし

(4) 文教施設等（文部科学省調べ：9月5日16:00現在）

区分	被災箇所数
国立学校施設	
公立学校施設	8
私立学校施設	
社会教育・体育、文化施設等	3
文化財等	
研究施設等	
計	11

※主な被害状況：建具・ガラス破損、外壁破損、屋根破損、電柱倒壊 等

(5) 農林水産関係（農林水産省調べ：9月5日15:00現在）

区分	主な被害	被害数	被害地域 (現在3県から報告あり)
農作物等	農作物の倒伏	1ha	栃木県、埼玉県
	ビニールハウスの損壊	30棟	栃木県、埼玉県、千葉県

注：被害については、現時点で判明しているものを記載しており、引き続き調査中。

(6) 社会福祉施設等関係（厚生労働省調べ：9月5日15:00現在）

- ・埼玉県で4カ所（避難中の施設なし）が被災。人的被害はなし（窓ガラス破損等）。

(7) 病院等関係（厚生労働省調べ：9月5日15:00現在）

- ・千葉県で2カ所が被災。人的被害はなし（窓ガラス破損等）。
- ・栃木県で1カ所が被災。人的被害はなし（窓ガラス破損等）。

(8) 観光関係（国土交通省調べ：9月5日15:00現在）

- ・登録ホテル・旅館に関する被害情報なし。

(9) その他

○がれきの発生状況（環境省調べ：9月5日15:00現在）

- ・埼玉県越谷市・松伏町、千葉県野田市で災害廃棄物の発生が見込まれる（詳細調査中）
- ・栃木県矢板市・鹿沼市、三重県伊勢市・上地町、高知県宿毛市で災害廃棄物の発生が見込まれる（詳細調査中）

5. 政府の主な対応

(1) 政府調査団の派遣

- ・亀岡内閣府大臣政務官（防災担当）を団長とする政府調査団を埼玉県へ派遣（9月3日）
- ・亀岡内閣府大臣政務官（防災担当）を団長とする政府調査団を千葉県へ派遣（9月4日）

(2) 関係省庁災害対策会議の開催

- ・関係省庁災害対策会議を開催し、今後の気象状況の見通し及び各省庁の対応状況について情報共有を行うとともに、以下のとおり確認した。（9月2日19:30）

9月2日の突風被害への対応にあたり、以下のとおり、関係地方公共団体と連携を密にし、政府一丸となって、対応に万全を期することとする。

- 1 迅速な被害状況の把握に努め、関係省庁間の情報共有を図ること
- 2 被災者の方々が一日も早く安心した生活に戻れるよう、各省庁において可能な限りの支援を行うこと
- 3 気象庁から、大気の状態が非常に不安定な状態が続くと発表されていることから、引き続き、今後の気象状況を注視しながら、緊張感を持って、警戒・監視にあたること

- ・ 関係省庁災害対策会議（第2回）を古屋内閣府特命担当大臣（防災）、西村内閣府副大臣（防災担当）及び亀岡内閣府大臣政務官（防災担当）出席のもと開催し、政府調査団調査報告を行ったほか、被害状況及び各省庁の対応状況について情報共有を行うとともに、以下のとおり確認した。（9月5日9:30）

- 1 被災地において、大雨が予想されていることから、被害の拡大防止に努めること
- 2 政府調査団の調査結果等を踏まえ、被災者の方々が一日も早く安心した生活に戻れるよう、各省庁において可能な限りの支援を行うこと

（3）竜巻等突風対策局長級会議の開催

- ・ 9月2日に埼玉県越谷市等で竜巻とみられる突風により大きな被害が発生したことに鑑み、取り組むべき竜巻等突風対策を早急に取りまとめるため、関係府省庁の局長クラスで構成される「竜巻等突風対策局長級会議」を設置し、第1回会合を9月6日15:00から開催予定

（4）災害救助法の適用

下記市町村は、いずれも、多数の者が生命等に危害を受けるおそれが生じており、避難して継続的な救助が必要なため

- ・ 埼玉県：越谷市、北葛飾郡松伏町

（5）被災者生活再建支援法の適用

- ・ 埼玉県越谷市（適用日9月2日）

（6）各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・ 内閣府情報対策室を設置（9月2日14:55）
- ・ 情報先遣チームとして職員3名を派遣（9月2日15:45出発）し、現地調査及び情報収集を実施（9月2日～3日）。

②警察庁の対応

- ・ 警察庁は、関係管区警察局や都道府県警察との連絡体制を強化するとともに関連情報の収集を実施
- ・ 埼玉県警察及び千葉県警察では、警備部長等を長とする災害警備本部を設置し、指揮体制を確立するとともに、被害情報の収集、関係機関との連絡等を実施。

【埼玉県警察】

- ・ 所轄の越谷署員、春日部署員等のほか、機動隊員84名、管区機動隊54名、自動車警ら隊8名、交通規制課員5名が現場出向（9月2日）
- ・ 越谷署員、機動捜査隊員、自動車警ら隊員等による被災地の警戒活動を実施（9月2～5日）
- ・ 越谷署員等が避難所を訪問し、避難者に対する支援活動を実施（9月2～5日）
- ・ 越谷署員が倒壊家屋から2名を救出（いずれも軽傷）（9月2日）
- ・ 2日14:55頃から警察航空隊ヘリ2機を運航し、ヘリテレ映像を送信。

【千葉県警察】

- ・ 所轄の野田署員のほか、機動隊員14名、自動車警ら隊4名、警察航空隊1機4名が現場出向（9月2日）
- ・ 機動隊員による被災地の警戒活動を実施。2日22:30任務解除（停電解消のため）
- ・ 野田署員等による被災地の警戒活動を実施（9月3～5日）
- ・ 2日15:23頃から警察航空隊ヘリ1機を運航し、ヘリテレ映像を送信

【栃木県警察】

- ・所轄の鹿沼署員、矢板署員、機動隊員、機動警察隊員等が現場出向し被害状況等を確認。
(9月4日)
- ・鹿沼署員、矢板署員、機動警察隊員、機動捜査隊員等による被災地の警戒活動を実施(9月4~5日)
- ・4日13:56から15:02までの間、栃木県警察航空隊ヘリテレ映像を送信
- ・4日14:47から関東管区警察局機動警察通信隊2名が現場映像を配信

③消防庁の対応

- ・応急対策室長を長とする災害対策室設置(9月2日15:30)
- ・埼玉県防災航空隊が、上空からの情報収集を実施(2日15:05離陸、18:25に帰投)
- ・埼玉県防災航空隊が、上空からの情報収集を実施(3日9:19離陸、10:45に帰投)
- ・千葉市消防航空隊が、上空からの情報収集を実施(3日9:30離陸、11:22に帰投)
- ・越谷市消防本部から、2日14:43に埼玉県下消防相互応援協定に基づく応援を要請。
13消防本部から計28隊が出動し、活動実施。2日21:40に応援活動終了。

④海上保安庁の対応

- ・気象警報等に留意し、随時、即応態勢をとり、情報収集を実施

⑤金融庁の対応

- ・災害救助法の適用決定を受け、埼玉県内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省関東財務局の連名で「9月2日に発生した突風等にかかる災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講ずるよう要請(9月2日)

⑥総務省の対応

- ・災害救助法の適用を受けた地域を告知先とする無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施(9月3日埼玉県越谷市、同北葛飾郡松伏町)

⑦財務省の対応

- ・平成25年9月2日に発生した突風等による災害を危機認定し、日本政策金融公庫から指定金融機関(日本政策投資銀行、商工組合中央金庫)を通じた危機対応融資の対象に追加、財務省、中小企業庁及び農林水産省の連名で指定金融機関に対して同内容の通知文書を発出(9月3日)
- ・災害救助法の適用を踏まえ、埼玉県に係る被災中小企業者への対応として、窓口における親身な対応、資金の円滑な融通等を要請する通知文書を、財務省、中小企業庁等の連名で日本政策金融公庫等に対して発出(9月3日)
- ・埼玉県、千葉県に対し、関東財務局から利用可能な国有財産(未利用地及び国家公務員合同宿舎)のリストを情報提供(9月3日)。

⑧文部科学省の対応

- ・千葉県及び埼玉県の各教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保及び二次災害の防止を要請(9月2日17:56)

⑨厚生労働省の対応

- ・避難所の生活環境の整備等について、十分な配慮を行うよう埼玉県に通知(9月2日)
- ・適用市町村に職員を派遣して、災害救助法についての説明会を実施。(9月4日)

⑩経済産業省の対応

- ・埼玉県越谷市、北葛飾郡松伏町、千葉県野田市に職員を派遣し、中小企業関係被害情報収集を実施(9月3日)
- ・災害救助法の適用を踏まえ、埼玉県において被災中小企業者対策として、特別相談窓口の設置、災害復旧貸付の適用、既往債務の返済条件緩和等、小規模企業共済災害時即日貸付の適用の措置を講じた(9月3日)

⑪農林水産省の対応

- ・災害救助法が適用された埼玉県の関係金融機関に対し、通帳等を紛失した預貯金者等に対する応急措置の要請通知を发出(9月3日)

⑫国土交通省の対応

- ・国土交通本省注意体制(9月2日15:30)
- ・防災ヘリコプター「あおぞら号」により TEC-FORCE(先遣隊)7名が埼玉県越谷市、千葉県野田市の被災状況を調査。(9月2日)
- ・関東地方整備局より、リエゾン6名を埼玉県庁、埼玉県越谷市、千葉県野田市へ派遣し、被害情報の収集、自治体からの支援要望等について収集。(9月2日)
- ・松下国土交通大臣政務官を筆頭とした、国土交通省調査団(9名)を埼玉県松伏町、千葉県野田市へ派遣中(9月3日)
- ・国土技術政策総合研究所の専門家1名を埼玉県越谷市に派遣し、現地調査を実施(9月2日)
- ・国土技術政策総合研究所の専門家3名を埼玉県越谷市、松伏町、千葉県野田市に派遣し現地調査を実施(9月3日)
- ・建築研究所の専門家1名を埼玉県越谷市に派遣し、現地調査を実施(9月2日)
- ・建築研究所の専門家4名を埼玉県越谷市、松伏町、千葉県野田市に派遣し、現地調査を実施(9月3日)
- ・防災ヘリコプター「あおぞら号」により TEC-FORCE(先遣隊)6名が栃木県矢板市、鹿沼市、塩谷町の被災状況を上空より調査(9月4日)
- ・関東地方整備局より、リエゾン4名を栃木県庁、矢板市、鹿沼市、塩谷町へ派遣し、被害情報や自治体からの支援要望等について情報収集(9月4日)

⑬気象庁の対応

- ・気象庁機動調査班を埼玉県(2班計10名)・千葉県(3班計8名)の現地に派遣して調査を実施。(9月2日)
- ・気象庁機動調査班を埼玉県(4班計17名)・千葉県(5班計17名)の現地に派遣して調査を実施。(9月3日)
- ・気象庁機動調査班を栃木県(4班計17名)・高知県(1班4名)の現地に派遣して調査を実施。(9月4日)
- ・気象庁機動調査班を栃木県(4班計16名)・三重県(1班4名)の現地に派遣して調査を実施。(9月5日)
- ・引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。

⑭環境省の対応

- ・9月2日の竜巻について、齋藤環境大臣政務官を筆頭とし、環境省本省(2名)、関東地方環境事務所(2名)が現地調査を実施(9月3日)